

2021年3月11日

## News Release

芙蓉総合リース株式会社  
代表取締役社長 辻田 泰徳  
東京都千代田区麴町 5-1-1

PHOTON JAPAN 合同会社  
職務執行者 大川 礼次郎  
東京都港区六本木 6-1-20

## 台湾の太陽光発電ファンドへの出資について

### ～芙蓉リース初となる台湾の太陽光発電事業へ参画～

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 辻田泰徳、以下「芙蓉リース」）は、台湾で太陽光発電所の開発・運営を行う「Photon Taiwan Fund, L.P」（以下「当ファンド」）への出資を行い、芙蓉リースとして初めて台湾における太陽光発電事業へ参画しました。

台湾では、再生可能エネルギーの固定買取価格制度（FIT）が導入されており、2025年までに太陽光発電を 20GW 導入する目標を掲げるなど、再生可能エネルギーの導入に向けた様々な取り組みを加速させています。太陽光発電や洋上風力発電等の再生可能エネルギーの市場拡大が期待され、芙蓉リースも台湾におけるエネルギー・環境分野の取り組みを強化するために、2020年11月から台湾現地法人の営業を開始しております。

当ファンドは、日本で太陽光発電事業の開発・投資を行っている PHOTON JAPAN 合同会社（東京都港区、職務執行者 大川礼次郎、以下「PHOTON JAPAN」）グループが台湾において設立した太陽光発電所宛投資ファンドであり、太陽光発電所への投資による安定的なクリーンエネルギーの供給を目指しています。

芙蓉リースは、中期経営計画「Frontier Expansion 2021」において、「エネルギー・環境」と「海外」をそれぞれ戦略分野に位置付けており、日本国内では現在 35カ所・202MWの太陽光発電所を運営し、さらに北米での太陽光・風力発電事業にも参画しております。

当ファンドへの出資で得た知見を活かし、脱炭素社会への実現に取り組む顧客へのソリューションの提供とファイナンス面でのサポートをより一層グローバルに展開していきます。

芙蓉リースグループは、社会課題の解決に積極的に関与し、同時に企業としての成長を目指す CSV（共有価値の創造：Creating Shared Value）の考えを実践し、持続可能な社会づくりに貢献していきます。

PHOTON JAPAN グループは、日本国内において 70MW 以上の太陽光発電事業の開発・投資を行っており、今回日本における開発・投資ノウハウを活かして設立した当ファンドにて第一回投資実行に係る投資決定を行いました。

また、日本でも増加する再生可能エネルギー発電所投資需要の受け皿となるべく、本年より Non-FIT 太陽光発電所を主な投資対象とした太陽光発電ファンド事業が予定されております。

PHOTON JAPAN グループは、今後も国内外における発電所の開発・投資を通して、再生可能エネルギーの普及による持続可能な社会の実現に向けて事業を行ってまいります。

以上

お問い合わせ先

芙蓉総合リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室（担当）木村・奥住

電話番号 03（5275）8891 URL <https://www.fgl.co.jp/>

PHOTON JAPAN 合同会社 広報担当 石原

電話番号 03（6455）4465 URL <http://www.photonjapan.com>